

## 研究報告 2

令和3年度 研究プロジェクト②

# 「新入生サポート・プロジェクト」

内山登紀夫・西牧陽子・保科保子・黒田大貴

**概要：**本研究は、英国バース大学との共同のもと、自閉症スペクトラム（以下 ASD）のある大学生を対象にグループプログラムによるサポートを実施し、その予防的介入効果を検討することを目的としている。今年度は、昨年度に引き続き本学新入生を対象にアンケート調査及び問題解決グループを実施した。研究全体のマネジメントはバース大学が担っており、国内での実施に際しては、バース大学の研究予算（ジョン&ローナ・ウィング基金）の一部を受けて実施された。

## 1. 方法

2021年度入学の新入生を対象に協力者を募集し、アンケート調査とグループセッション（週1回、全7回）を実施した。アンケート協力者は65名、うち25名がグループセッションに参加した。グループファシリテーターは西牧、保科、黒田が務めた。

なお、本研究のマネジメントは英国バース大学が担っており実施経費の一部はバース大学研究予算の助成を受けている。今年度は61,980円を大学に納入した。

## <スケジュール>

- ・4月 : 参加者募集, 事前アンケート実施
- ・4月中旬 : 第1回 質問紙調査
- ・5～6月 : 問題解決グループ<前期>実施  
(3グループ, 各7回)
- ・7月 : 第2回 質問紙調査
- ・10～11月 : 問題解決グループ<後期>実施  
(1グループ, 全7回)
- ・1月 : 第3回 質問紙調査

## 2. 結果とまとめ

終了後インタビューでは、グループ参加の効果への言及が多く、満足度は高かった。ほかに、対面交流が制限されているコロナ禍に、定期的にグループでの交流があったことを肯定的に評価する声が寄せられた。グループ参加者による同窓会には13名が参加した。

なお、本プロジェクトの取り組みについては、本学障がい学生支援部会主催の講演会で、教員の内山・西牧が実践報告を行った（「新入生サポート・プロジェクトでの取り組みー 英国バース大学との発達障害学生支援のための共同研究を通して」12月22日開催）。学生支援の観点からもグループ実践の意義が認められたことから、来年度も継続予定である。

